

農地賃貸借契約書

契約日：_____ 貸し手（甲）：_____ 借り手（乙）：_____

項目	記入欄
契約の経路	相対（農地法第3条の許可）・その他（ ）
貸し手（甲）	住所： 氏名：
借り手（乙）	住所： 氏名：
賃貸借の目的物	別表のとおり
賃貸借の期間	年 月 日から 年 月 日まで（ 年間）
契約の更新	満了の1年前から6か月前までに更新しない旨の通知をしないときは、同じ条件で更新する
借賃の額	10aあたり年 円（年額 円）・物納（ ）
支払期日・支払方法	毎年 月 日まで／振込・持参・その他（ ）
支払の猶予・減額	
転貸・譲渡	
修繕・改良	
経常費用の負担	「費用の負担」のとおり
返還・原状回復	契約終了日から 日以内に返還する
永年性作物の扱い	
解除の条件（該当する場合）	
付随する権利・義務	
契約の変更・協議	
その他の特約	
署名	甲： 乙：

- 記入例の人名・地名・金額は架空のものです。
- 農地の賃貸借は、相対で契約する場合は農業委員会の許可（農地法第3条）を、農地バンクを通す場合は機構の手続きを経ます。許可を受けなかった賃貸借は効力を生じません。
- 農地の賃貸借契約は、存続期間・借賃の額・支払条件などを書面で明らかにします（農地法第21条）。
- 解約・更新しない通知には、原則として都道府県知事の許可が要ります（農地法第18条）。内容を決める前に農業委員会に相談し、必要に応じて行政書士などの専門家に確かめてください。

別表 賃貸借する土地の目録

貸し手（甲）：_____ 借り手（乙）：_____ 契約日：_____

大字・字	地番	地目（登記／現況）	登記面積（㎡）	契約上の面積（㎡）・畦畔など	10aあたり借賃（円）	年額（円）	支払期日	備考
例 △△町字北田	125	田／田	2,150	2,150（うち畦畔約80）	6,000	12,900	12/25	農具小屋1棟を含む

- 土地は1筆ごとに1行で書きます。登記の面積と実際の面積が違う場合は、契約で決めた面積と、畦畔・水路の面積も書きます。
- 年額は「10aあたり借賃 × 契約上の面積（㎡） ÷ 1,000」で出します。端数の扱いも決めておきます。

修繕・改良と経常費用の負担の取り決め

貸し手（甲）：_____ 借り手（乙）：_____ 取り決めた日：_____

費用の種類	負担する人 (甲・乙・折半)	支払先・時期	契約終了時の精算	備考
固定資産税				国の契約書の様式例では貸し手（甲）の負担
土地改良区の経常賦課金・水利費				国の様式例では、かんがい排水・土地改良の経常経費は原則として借り手（乙）
農業共済の共済掛金				国の様式例では借り手（乙）の負担
畦畔・法面の草刈り、水路の泥上げ				地域の共同作業（出役）の扱いも書く
暗渠排水・客土・土壌改良				借り手が行った改良費を返すかどうか
施設・設備の大きな修繕				
その他				

- ここで決めた内容は、契約書の「修繕・改良」「経常費用の負担」の欄とそろえます。

ミノリス（minorisu.com）の無料テンプレート